

今後の検討の方向性

- 12月の最終取りまとめに向け、引き続き、ソリューション等についての検討を進め、2010年までのu-Japanの全体設計図及び政策パッケージを策定する
 - 引き続き、ソリューションの実現に必要な要素(個別技術、アプリケーション、サービス等)を整理し、その実現方策を政策パッケージ化
 - アンケートの限界も考慮し、ニーズからのアプローチに加え、技術的な可能性・必要性など異なる面からのアプローチとのバランスを取り、全体設計図・政策パッケージを最適化する
 - 重要度の高いソリューションについて検討を行う
 - 【例】豊かな人間関係や信頼に基づく社会的繋がり(SC:Social Capital)に関するソリューション
 - 【例】教育分野のソリューション等
 - 政策の進捗を点検するためのアウトカム目標・達成時期の設定、評価の枠組みの在り方について検討を行う

■ 今後の日程(案)

